

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	2019-614			科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科			対象学年	3	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	科学技術基礎日本語、留学生のためのアカデミックジャパニーズ、他					
担当教員	(教養科 非常勤講師) ,高澤 啓子					
到達目標						
講義や研究発表、学習活動に必要な日本語を聞いて正確に理解し、聞いたことをまとめ、適切な対応が出来る。 知識として得た日本語を実際に使用してレポートを書いたり、コミュニケーションが出来る。 理系の教科書の読解、講義の聴講、実験・実習を円滑に行うことが出来る。理系の分野の論理的で明快な科学技術日本語と、アカデミックな日本語、日常生活の中で使われる日本語の違いを理解出来る。 「日本(人・社会)」という異文化を自国と比較しながら理解し、カルチャーショックを克服出来る。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語を聞いて正確に理解し、聞いたことをまとめ、適切な対応ができる		日本語を聞いてに理解し、聞いたことをまとめ、対応ができる		日本語を聞いてに理解し、聞いたことをまとめ、対応ができない	
評価項目2	日本語を用いて適切にレポートを作成し、適切なコミュニケーションができる		日本語を用いてレポートを作成し、コミュニケーションができる		日本語を用いてレポートを作成し、コミュニケーションができない	
評価項目3	専門的に関する日本語を適切に理解したり、文化的な違いに適切に対応できる		専門的に関する日本語を理解したり、文化的な違いに対応できる		専門的に関する日本語を理解したり、文化的な違いに対応できない	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4						
教育方法等						
概要	日本での留学生生活を送る上で必要なコミュニケーション能力と、日本の高等教育機関で学習研究活動を行うために必要な日本語能力を養う。日本語で表現されていることを理解し、情報同士の関係を理解し、理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈を導く能力を養う。基本的に日本語能力試験N2レベル程度の日本語(および一部英語)で授業を実施するので前年度中にN2を取得していることが望ましい。					
授業の進め方・方法	前期・後期（試験50%, 課題・提出物30%, 出席・授業態度20%）学年末評価（前期40%, 後期40%, 選択課題20%）					
注意点	・評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。 ・中間試験を授業時間内に実施することがあります。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		自己紹介。授業概要、課題、評価基準等の説明。地震と防災について	
		2週	科学技術基礎日本語 第1課		日本語の数の読み方	
		3週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第1課		富士山についての話を聞いて、富士山の富士山の特徴や歴史について理解する	
		4週	科学技術基礎日本語 第2課		式の読み方	
		5週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第2課		日本の信号についての話を聞いて、自国の信号や交通ルールと比較する。	
		6週	科学技術基礎日本語 第3課		割合を表す表現	
		7週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第3課		隠れキリシタンについての話を聞いて、日本の宗教の歴史を理解する。自国の宗教について説明する。	
		8週	科学技術基礎日本語 第4課		平面図形の名前	
	2ndQ	9週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第4課		日本の水族館についての話を聞いて、自然の状態の魚との違い、その理由を考える。	
		10週	科学技術基礎日本語 第5課		立体図形の名前	
		11週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第5課		ゴリラの食事のしかたについての話を聞いて、自然界の動物と植物の関係を理解し説明する。	
		12週	科学技術基礎日本語 第6課		図形に関する表現	
		13週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第6課		東京の温泉についての話を聞いて、温泉を定義し、日本の温泉と自国の温泉とを比較する。	
		14週	テーマ学習		スピーチコンテストに出場する	
		15週	テーマ学習		スピーチコンテストに出場する	
		16週				
後期	3rdQ	1週	科学技術基礎日本語 第7課		単位	
		2週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第7課		「失敗学」についての話を聞いて、失敗学とはどのようなものかを理解し、自分が経験した失敗と関連づけて話を要約する。	
		3週	テーマ学習		高専祭に参加する	
		4週	テーマ学習		高専祭に参加する	
		5週	科学技術基礎日本語 第8課		位置を表す表現	
		6週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第8課		日本の祭りについての話を聞き、自分の国の祭りについても紹介する。	
		7週	科学技術基礎日本語 第9課		手を動かす基本動作	

4thQ	8週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第9課	日本の伝統的な楽器についての話を聴き、自分の国の伝統的な楽器について調べ発表する。
	9週	科学技術基礎日本語 第10課	物を動かす基本動作（1）
	10週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第10課	パソコンでメールを書く際のマナーについて考え、実際にメールを作成する。
	11週	科学技術基礎日本語 第11課	物を動かす基本動作（2）
	12週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第11課	日本語のアクセントについての話を聞き、日本語のアクセントの特徴について理解する。
	13週	科学技術基礎日本語 第12課	物の形を変える基本動作（1）
	14週	留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 第12課	「からくり人形」についての話を聞き、からくり人形の発展・日本の技術の発展について理解する。
	15週	科学技術基礎日本語 第13課	物の形を変える基本動作（2）
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	30	0	20	0	0	100
基礎的能力	30	30	0	20	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0